

嬉野市塩田津(佐賀県)

(1)保存地区の概要

地区名	嬉野市塩田津
選定年月日	2005(平成17)年12月27日
種別・面積	商家町 約12.8ヘクタール
特徴	長崎街道の宿場町と、有明海の潮の満ち引きを利用した河口から約5kmに位置する川港として栄えた。大火の経験から、外壁を漆喰で塗り固めた「居蔵家(いぐらや)」と呼ばれる瓦葺き大壁造の町家が多く建てられた。また、川沿いには土蔵や座蔵が建ち並び、特産の塩田石を使った石造物、樹木等も合わせ地区固有の景観を形成している。江戸期以来の地割、水路も良く継承される。

(2)保存地区のあゆみ

1990年度	地元有志による「塩田塾」発足
2001年度	対象地区への説明会「町並み研究会」発足
2002年度	伝統的建造物群保存対策調査事業開始
2004年度	伝統的建造物群保存対策調査事業完了 対象地区へ報告会 同意説明意見交換会
2005年度	第1回伝統的建造物群保存地区保存審議会 重要伝統的建造物群保存地区選定 嬉野市誕生(嬉野町と合併)
2006年度	保存修理事業開始 塩田津町並み保存会発足

嬉野市塩田津(佐賀県)

(3) 保存地区の保存と整備

● 伝建修理・修景事業

2006～23年度 修理49件(2か年事業は1年目のみ。既修理の再修理は含まない)、修景5件

2024年度予定 修理3件、修景1件

● 重要文化財保存修理事業

2007～10年度 西岡家住宅 修理

● 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

2006年度～
交流集会所整備、公園整備、道路・通路美装化、住宅修景
防火水槽の設置
消火栓の設置
防火池の整備 等

● 無電柱化 1997年度 塩田町国道498号 マイタウンリフレッシュ事業(裏配線)



伝建選定前



伝建選定後



伝建・修景事業

重要文化財保存修理

伝建・修理事業

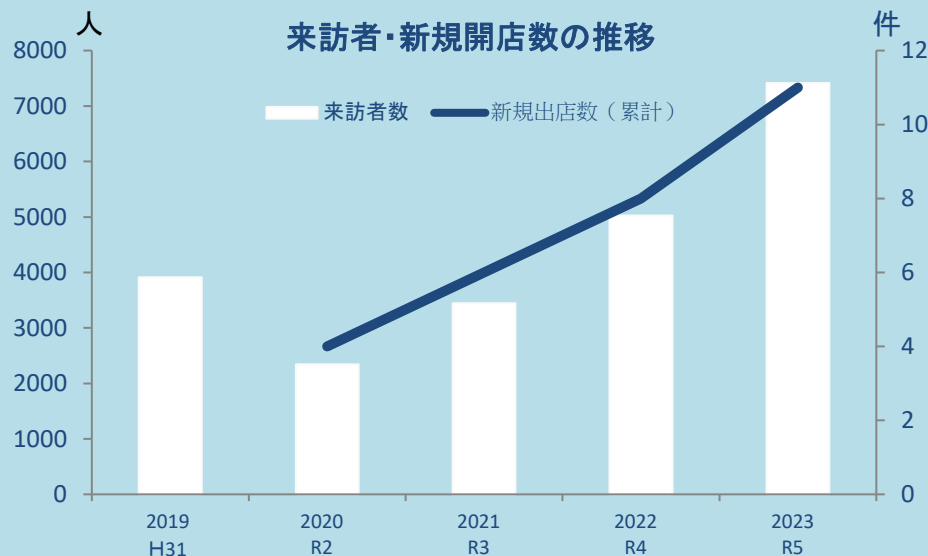
街なみ環境整備事業・道路美装化

嬉野市塩田津(佐賀県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

●活用について

・観光の場・地域学習活動の支援による郷土愛の育成・移住推進の体験地として



塩田津まちなみてらす
(R4年度新築オープン)
公衆トイレと、無人案内所があり塩田津についてかんたんな案内ムービーが見れます。町歩きのはじめに訪れることをオススメします。



塩田津における移住推進(R3年度～)

古民家暮らしを無料で体験できるお試し住宅「住む塩田津」は3泊から試せます。また、お試しサテライトオフィスとしても利用でき、地方でオフィスを構える体験も味わうことができます。詳細は以下URL(嬉野市役所企画政策課)。



https://www.city.ureshino.lg.jp/kurashi/teiju/otameshiiju/otameshiiju_gaiyou.html

3泊から移住体験できます!

古民家で始める
私らしい暮らし

嬉野市塩田津(佐賀県)

(5) 住民等の取組

●保存会の活動

保存会では、各部会に分かれて活動を行なっています。以下、代表的な部会と活動をご紹介します。

空き店舗活用	店舗呼び込み、イベントでの活用など
・朝市部会	毎週日曜日に朝市を開催、地元生産者の活性化を支援する。
・ボランティアガイド部会	来訪者や観光客にガイドを行なう。
・おもてなし部会	お茶の振舞いや来訪者の対応 など

●住民の声

ここ数年、コロナ禍の影響もありましたが、訪問者数は年々増加し、また、新規店舗開店や相談も増えています。これは保存会以外にも、若い世代や移住者といった新しい力が大きく影響しています。基本となる修理・修景事業を継続し保存会だけでなく、地域内外の住民、観光地を巻き込んでの活発な活動がこれからの塩田津を盛り上げてくれると確信しております。(塩田津町並み保存会理事長)

武雄温泉駅

約10km
車で約20分

塩田津

約10km
車で約20分

約9km 車で約15分

嬉野温泉

鹿島市
浜中町八本木宿
浜庄津町浜金屋町
伝建地区